

ブリエール

12

2016

松江市男女共同参画センター

情報誌

※ブリエールとは男女共同参画センターの愛称です。
フランス語で「新しい」の意味を持ち公募によって決まりました。

今月のフォトギャラリー



親子リズムサークルのみなさん

子育て中のお母さんが集まり、楽しくお遊戯したり、おしゃべりしたりのほか、ミニ出前講座で伺いました。子育てならではの男女共同参画について話し合いました。

□松江市男女共同参画週間事業実施報告

□まつえ男女共同参画推進宣言企業紹介…株式会社 長岡塗装店

お知らせ

■（公益財団法人しまね女性センター内）公益信託しまね女性ファンド事務局から
公益信託しまね女性ファンド助成事業 平成29年度募集

株式会社 長岡塗装店



所在地：松江市西郷1-2-14
代表者：代表取締役 古市野 功
設立：1965年4月1日
従業員：32名 *女性10名
サイト：<http://www.nagaoka-toso.co.jp>

会社概要



*男女問わず、子育て、介護等の有無にかかわらず、ひとり一人の働き方や困難を見直し、仕事と家庭の両立支援を積極的に後押しする企業を募集し「まつえ男女共同参画推進宣言企業」として認定します。広域や各種情報の提供等によりその取組を支援し、取組事例を紹介します。

制度とは会社と社員の相乗効果につながるもの

—古志野さん—

制度をこう変えればいきいきと働き続けることができるのではないかと社員の立場に自分を置き換えて考えています。今は経営者の立場ですが、以前は一社員でしたので、どちらの立場もわかります。会社と社員どちらかだけを優先させるような制度では続きません。共に良くなるという、相乗効果が期待できるものでなければならないと思っています。

例えば、「子育て中の男性社員が休暇を取る」これは会社にとってはマイナスと考えられがちです。しかし、この社員は休む間の業務を後輩の若手社員に教え引き継いでおくために打合せ（コミュニケーション）が自然と必要になり、若手社員は早く育ち、引き継ぐために業務はマニュアル化され、働き方の見直しや改

善にもつながります。このことにより、社員も安心して働くことができ、会社も小さなコストで大きな見返りが発生する、まさに相乗効果だと感じています。

現在当社では若い女性技術者も2名、現場で施工や管理業務を行っています。性別、年齢、環境、それぞれ立場の違う多様な人たちが、お互いに力を合わせ、チームで仕事をする。社員の放つ光に囲まれている会社はきっと成長していけると信じています。誰もが輝くように働き続けることができる仕組みをつくることは、経営者の大事な仕事であると考えます。



常務取締役
古市野 純子(にしの すみ子)さん

*株式会社 長岡塗装店の取組を紹介します

1. ポジティブ・アクション(積極的改善措置)推進の取組み

- 女性技術者の増員
- 女性にも技術職の魅力をPRする

- *現員2名から増員
- *ホームページに掲載

2. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)推進の取組み

- 年次有給休暇取得促進に向けた取組み

- *連休が取りやすいように配慮する

3. 健康管理(男女が共に働きやすい職場環境づくり等)の取組み

- 管理職、社員全員のそれぞれの立場に向けたセミナーを開催

- *外部講師による職場環境づくりセミナーの実施

募集中!

男女共同参画推進の取組を
宣言する企業を募集しています!

〈対象〉松江市内に事業所がある企業・団体等
〈応募要件〉

- ・ポジティブ・アクション(積極的改善措置)推進の取組
- ・ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)推進の取組
- ・その他(男女が共に働きやすい職場環境づくり等)の取組

詳しくは松江市男女共同参画課へお問い合わせください ☎0852-32-1196

Eメール danjoseankaku@city.matsue.lg.jp

左記の応募要件を参考に、社内で具体的に取組んでいくことを1つ以上宣言してください。

